

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	住友電気工業株式会社 テクニカルアカデミー棟建設工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県伊丹市昆陽北1-1-1	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年11月4日
敷地面積	3,076 m <sup>2</sup>	作成者	小林 啓明
建築面積	1,220 m <sup>2</sup>	確認日	2020年11月5日
延床面積	4,341 m <sup>2</sup>	確認者	松島 茂樹



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	伊丹市に建設される事務所の計画である。省エネ、省資源に配慮しつつ利用者の快適性向上を図った計画としている。	その他 特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	吸音材の使用による音環境への配慮や空気質環境に配慮した計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 屋上緑化により利用者の暑熱環境に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b>	高効率設備の採用により省エネに配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 排出量削減に配慮している。
<b>Q2 サービス性能</b>	ゆとりのある天井高や階高により快適性に配慮し、また更新必要間隔の長い内装材、配管を使用し建物耐久性に配慮している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	省水型機器の採用や再利用できる部材の採用により省資源に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される